武蔵浦和 めでぃかるれぽーと 春号

日に日に暖かくなり、咲く花に心も浮き立つ春ですが、寒暖の差などで体調を崩しやすいもの。より一層、健康管理に気を付けたい季節です。武蔵浦和メディカルセンター（さいたま市南区別所７の２の１。ＪＲ武蔵浦和駅東口徒歩４分）のクリニックから、毎日を健やかに過ごすための耳寄り情報をお届けします。

ミューズシティ　クリニック

美容皮膚科と審美歯科の次世代コラボレーション

健康維持と美のための新しいクリニックです

武蔵浦和メディカルセンター2階に、医科・歯科による美と健康のトータルアンチエイジングクリニックが誕生しました。

ミューズ皮膚科ペインクリニック（仁杉直子院長）の美容治療部門と、ファーストタワー歯科クリニック（堀直広院長）の審美歯科部門がコラボレーション。仁杉院長は「超高齢化・長寿社会において〝健康で長生き〟はもちろん、〝見た目も若々しくいたい〟という意識が高まっています。潤いのある生き生きとした肌、白く輝く歯は気持ちも明るく前向きにしてくれるもの。〝治す〟だけのクリニックから一歩進んだ、健康維持と美容のためのアンチエイジングクリニックを目指しています」と話しています。

↑水光注射

★水光注射

昔のハンコ注射のような極々細い針が5本付いたアプリケーターを用いて、肌の表面直下（皮下1～2㎜）の浅い層に細かく均一に薬剤を注入することができる新しい美容治療です。

「水光注射では、特に目回りの肌の弾力、つやがアップして小じわの改善も期待できます。肌の状態や悩みに応じて医師の診断のもと各種薬剤を調整していますが、中高濃度ビタミンCを点滴で体内に取り込む治療法です。「当院では防腐剤無添加で定評のあるマイラン社の製剤を輸入して使用しています。効果良好とするために初回からしばらくは1週間に1度の点滴をお勧めしております。ご希望の方は歯科治療や美容治療のご予約の際に点滴を致しますので、お時間の節約にもなります。点滴直後より視野が明るくなり、すっきりとした感覚が得られると好評です」と仁杉院長。

美肌効果や疲労回復にも即効性があるとされ、白血球の機能強化による免疫力向上、歯周病治療・対策、がん予防への効果も注目されています。1回約30分1万円（税別）。初回は初診料、血液検査料1万5000円（税別）が必要です。

★デンタルホワイトニング

「白く輝く美しい歯は、顔全体を明るく見せてくれます。歯のホワイトニングは〝口元のアンチエイジング〟として年代・性別を問わず関心が高まっています」と堀直広院長。

クリニックで行うホワイトニングは、歯の表面にホワイトニング材を塗布して歯面を漂白することで、削らずに「歯を白く見せる」処置を行います。日本歯科審美学会認定ホワイトニングコーディネーターの資格を持つスタッフが、ホワイトニング用レーザーを使って治療します。1回約40分、3回コース3万5000円（税別）。自宅で行うホームホワイトニングコースは3万円（税別）で、約1カ月分のホワイトニングジェル、専用上下マウスピース、ケースがセットになります。

ホワイトニングブース

堀直広院長

ミューズシティ　クリニック
武蔵浦和メディカルセンター2階
※診療時間はミューズ皮膚科ペインクリニックに同じ。　■休診日　木曜、日曜、祝日
☎048－839－2233

ファーストタワー歯科クリニック

一般歯科、小児歯科、口腔外科、矯正歯科、インプラント、予防歯科、0歳児からの歯科相談、さいたま市乳幼児歯科検診を受け付けています。堀直広院長は日本先進インプラント医療学会認定インプラント専門医です。

歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科　院長：堀直広

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 10:00～午後 8:00	○	○	○	○	○		
午前 10:00～午後 6:00						○	
午前 10:00～午後 2:00							○

※初診最終受付時間は診療終了1時間前となっています。
午後2時～3時昼休み
※乳幼児歯科検診は予約制です。
武蔵浦和メディカルセンター1階　■休診日　祝日
☎048－865－8117
http://www.musashiurawa.jp/shika/

ミューズ皮膚科ペインクリニック

一般皮膚科診療、アトピー相談、痛みの相談を受け付けています。ペインクリニック（痛みの科）は火曜と金曜の午前に開設。神経の痛みを深く抑える硬膜外ブロック、星状神経節ブロックなどさまざまな痛みの治療に対応しています。

一般皮膚科・アトピー相談・痛みの相談　院長：仁杉 直子

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:30～午後 1:00	○	○ 痛み	○	－	○ 痛み	○	－
午後 3:00～午後 7:00	○	○	○ 手術	－	○	○ 手術	－

武蔵浦和メディカルセンター1階　■休診日　木曜、日曜、祝日
※土曜の一般診療は午後5時まで。
☎048－866－4112
http://www.musashiurawa.jp/hifuka/

武蔵浦和整形外科内科クリニック

リハビリテーション科を新設「2014年 当院はリハビリに力を入れます」

今年も3回に渡り、「武蔵浦和整形外科内科クリニック」尾崎大也（おざき・だいや）院長から健康レポートをお届けします。第1回は、整形外科外来で最も多く見られる症状である『腰痛』がテーマです。

新しいスタッフも加わり、リハビリルームも森をイメージした癒やしの空間へとリニューアルしました

尾崎先生の健康レポート「整形外科にできること」
④腰の痛みについて

腰痛で気を付ける疾患は、年代によってさまざまです。成長期の小中学生で注意が必要なのは、主に激しいスポーツによって生じる「腰椎疲労骨折」です。腰を反ったり、回したりするときの痛みを訴えることが多いです。放置すると骨折部が偽関節（骨がつかずに離れてしまうこと）となり、腰椎分離症となります。分離症となると腰痛が慢性化したり、将来「腰椎すべり症」に進行することがあります。早い段階で適切な治療を行えば、分離症への進行を防ぐことができます。

働き盛りの20～40歳代で注意したいのは「腰椎椎間板ヘルニア」です。椎間板は20歳くらいから老化が始まり、徐々に水分が失われていきます。椎間板の一部が後方の神経の方向に突出してしまった状態を椎間板ヘルニアといいます。疑わしい場合には治療経過でＭＲＩ検査を行います（提携施設での撮影となります）。

腰痛を訴える方の中には、下肢の疼痛（とうつう）やしびれを伴う方がいます。腰椎椎間板ヘルニアでは急性期に激しい腰痛や下肢痛に悩まされることがあります。近年、そういった強い症状（神経障害性疼痛）に対応できる薬が開発されました。皆さんもＣＭ等で見聞きしたことがあるかと思います。痛みを我慢すると慢性化する恐れがあります。早めにご相談ください。

高・老年層で注意を要するのは「骨粗鬆症（胸腰椎圧迫骨折）」「腰部脊柱管狭窄症」です。骨粗鬆症は骨がもろくなり、骨折しやすくなる〝骨の老化〟です。この場合の腰痛は骨粗鬆症のシグナルとして〝最初に腰に現れたもの〟と考えられ、放置すると体のあちこちに痛みが移ります。予防は最大の治療です。骨粗鬆症にならないために、40代以上から定期的に検査を受けることをお勧めします。

「腰部脊柱管狭窄症」は加齢によって背骨が変形し、狭くなった脊柱管の中で神経が圧迫され、血流などが滞ることで足や腰にしびれや痛みが起こるもの。歩いていると腰～足に痛みやしびれを感じ歩けなくなるが、前かがみになって少し休んでいると症状が楽になりまた歩けるようになる「間欠性跛行」は、この病気特有の症状です。この場合は血流を良くする投薬などで治療を行います。

◆

当院はお陰さまで開院から早10カ月が経過しました。今年はリハビリテーションに力を入れてまいります。リハビリルームを拡大し、トレーナーのほか理学療法士、整体師のスタッフも加わりました。当院へおかかりの患者さまが痛み・しびれなどの苦痛からより早く解放されて、健やかな生活が送れるように、スタッフ一同努力して参ります。よろしくお願いいたします。

◆

第2回は『メタボリックシンドローム』、第3回は『首や肩関節の痛み』についてレポートします。

～～～